

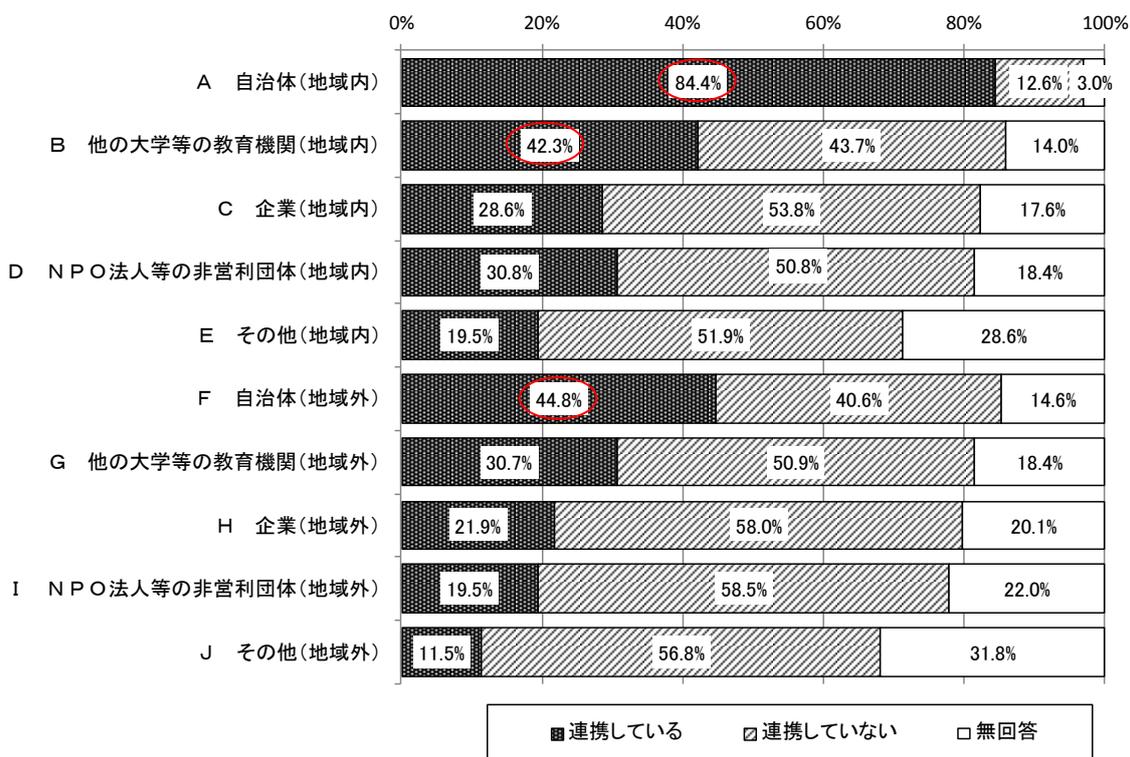
9 地域連携に関する取組の状況

(1) 連携状況

① 連携有無

地域連携の状況について、連携先別の連携有無をきいた。連携している割合が最も高いのは「A自治体（地域内）（84.4%）」であった。次いで、「F自治体（地域外）（44.8%）」、「B他の大学等の教育機関（地域内）（42.3%）」の割合が高かった。

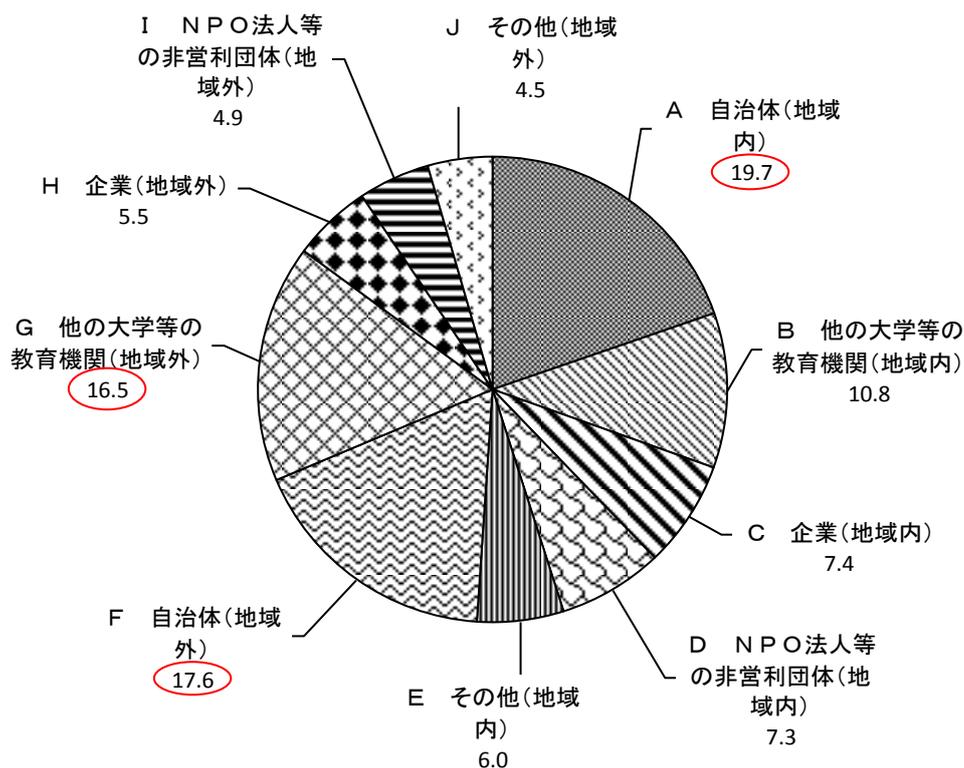
図表 160 問 20 連携先別の連携有無(N=636)



②連携件数

連携先別の連携件数をきいた。連携先別連携件数の全体に占める割合をみると、「A自治体（地域内）（19.7%）」、「F自治体（地域外）（17.6%）」、「G他の大学等の教育機関（地域外）（16.5%）」の順で連携件数割合が高かった。

図表 161 問 20 連携先別の連携状況（連携先別連携件数の全体に占める割合）



【設置者別の回答状況】

設置者別の連携先別連携件数をみた。平均連携件数をみると、多くの連携先において、『国立大学』の連携件数が多い。「D NPO法人（地域内）」については、『公立大学』、『I NPO法人（地域外）」については『私立大学』の平均連携件数が多かった。

図表 162 設置者別 問 20 連携先別の連携状況

A 自治体(地域内)				B 他の大学等(地域内)			
	全体	合計	平均		全体	合計	平均
全体	521	1935	3.7	全体	252	1057	4.2
国立大学	68	364	5.4	国立大学	44	265	6.0
公立大学	52	227	4.4	公立大学	31	97	3.1
私立大学	399	1332	3.3	私立大学	176	694	3.9
その他	2	12	6.0	その他	1	1	1.0
C 企業(地域内)				D NPO法人等(地域内)			
	全体	合計	平均		全体	合計	平均
全体	169	728	4.3	全体	184	713	3.9
国立大学	39	276	7.1	国立大学	29	142	4.9
公立大学	20	70	3.5	公立大学	24	123	5.1
私立大学	109	352	3.2	私立大学	130	447	3.4
その他	1	30	30.0	その他	1	1	1.0
F 自治体(地域外)				G 他の大学等(地域外)			
	全体	合計	平均		全体	合計	平均
全体	271	1727	6.4	全体	185	1622	8.8
国立大学	59	679	11.5	国立大学	45	439	9.8
公立大学	27	153	5.7	公立大学	20	128	6.4
私立大学	184	894	4.9	私立大学	119	1053	8.8
その他	1	1	1.0	その他	1	2	2.0
G 企業(地域外)				I NPO法人等(地域外)			
	全体	合計	平均		全体	合計	平均
全体	128	537	4.2	全体	114	485	4.3
国立大学	32	183	5.7	国立大学	24	102	4.3
公立大学	20	44	2.2	公立大学	18	62	3.4
私立大学	75	300	4.0	私立大学	71	319	4.5
その他	1	10	10.0	その他	1	2	2.0

【所在地域・人口規模別の回答状況】

大学の所在地域の人口規模別に、連携先別の連携件数をみた。全ての連携先について、「50万人以上」の平均連携件数が多い。

図表 163 所在地域・人口規模別 問 20 連携先別の連携状況

A 自治体(地域内)				B 他の大学等(地域内)			
	全体	合計	平均		全体	合計	平均
全体	521	1935	3.7	全体	252	1057	4.2
10万人未満	101	277	2.7	10万人未満	31	101	3.3
10～50万人未満	261	823	3.2	10～50万人未満	132	454	3.4
50万人以上	159	835	5.3	50万人以上	89	502	5.6

C 企業(地域内)				D NPO法人等(地域内)			
	全体	合計	平均		全体	合計	平均
全体	169	728	4.3	全体	184	713	3.9
10万人未満	22	46	2.1	10万人未満	23	79	3.4
10～50万人未満	84	375	4.5	10～50万人未満	95	304	3.2
50万人以上	63	307	4.9	50万人以上	66	330	5.0

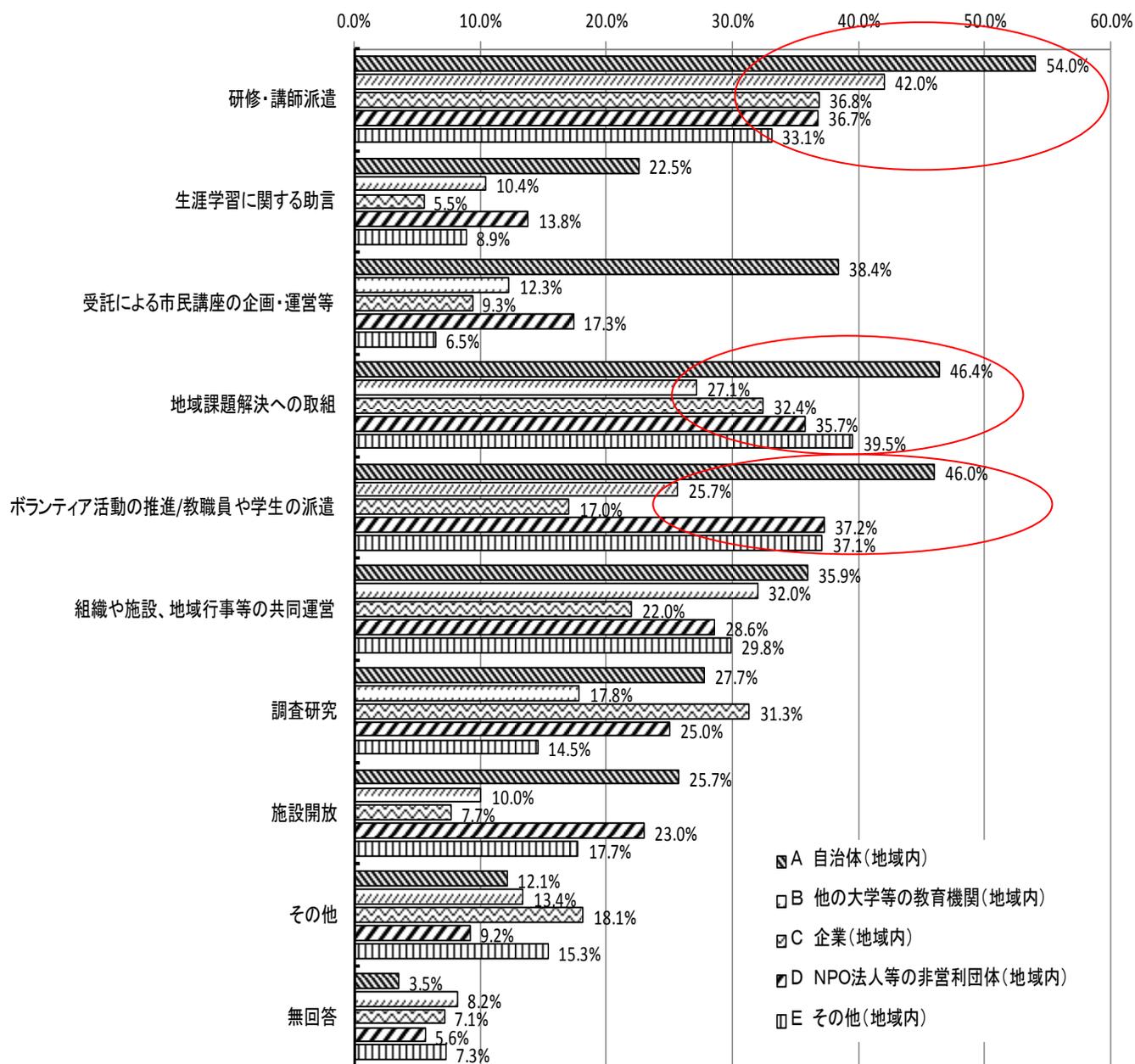
F 自治体(地域外)				G 他の大学等(地域外)			
	全体	合計	平均		全体	合計	平均
全体	271	1727	6.4	全体	185	1622	8.8
10万人未満	49	260	5.3	10万人未満	36	253	7.0
10～50万人未満	142	793	5.6	10～50万人未満	100	551	5.5
50万人以上	80	674	8.4	50万人以上	49	818	16.7

H 企業(地域外)				I NPO法人等(地域外)			
	全体	合計	平均		全体	合計	平均
全体	128	537	4.2	全体	114	485	4.3
10万人未満	24	68	2.8	10万人未満	24	55	2.3
10～50万人未満	64	212	3.3	10～50万人未満	57	234	4.1
50万人以上	40	257	6.4	50万人以上	33	196	5.9

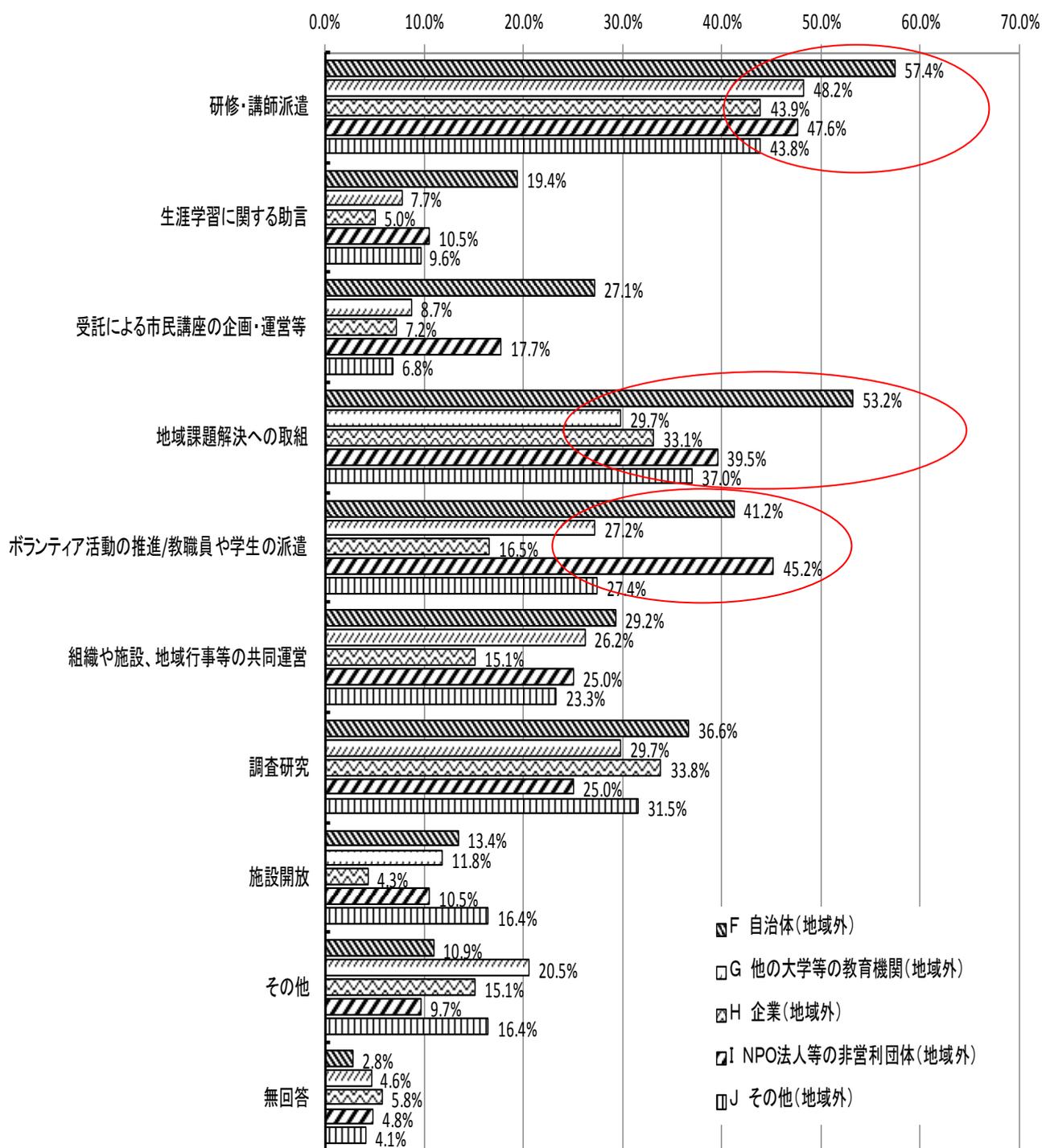
③連携内容

連携先別の連携内容についてきいた。地域内、また地域外をみても、概して「研修・講師派遣」、「地域課題解決への取組」「ボランティア活動の推進/教職員や学生の派遣」の割合が高くなっている。

図表 164 問 20 連携先別の連携内容(地域内)



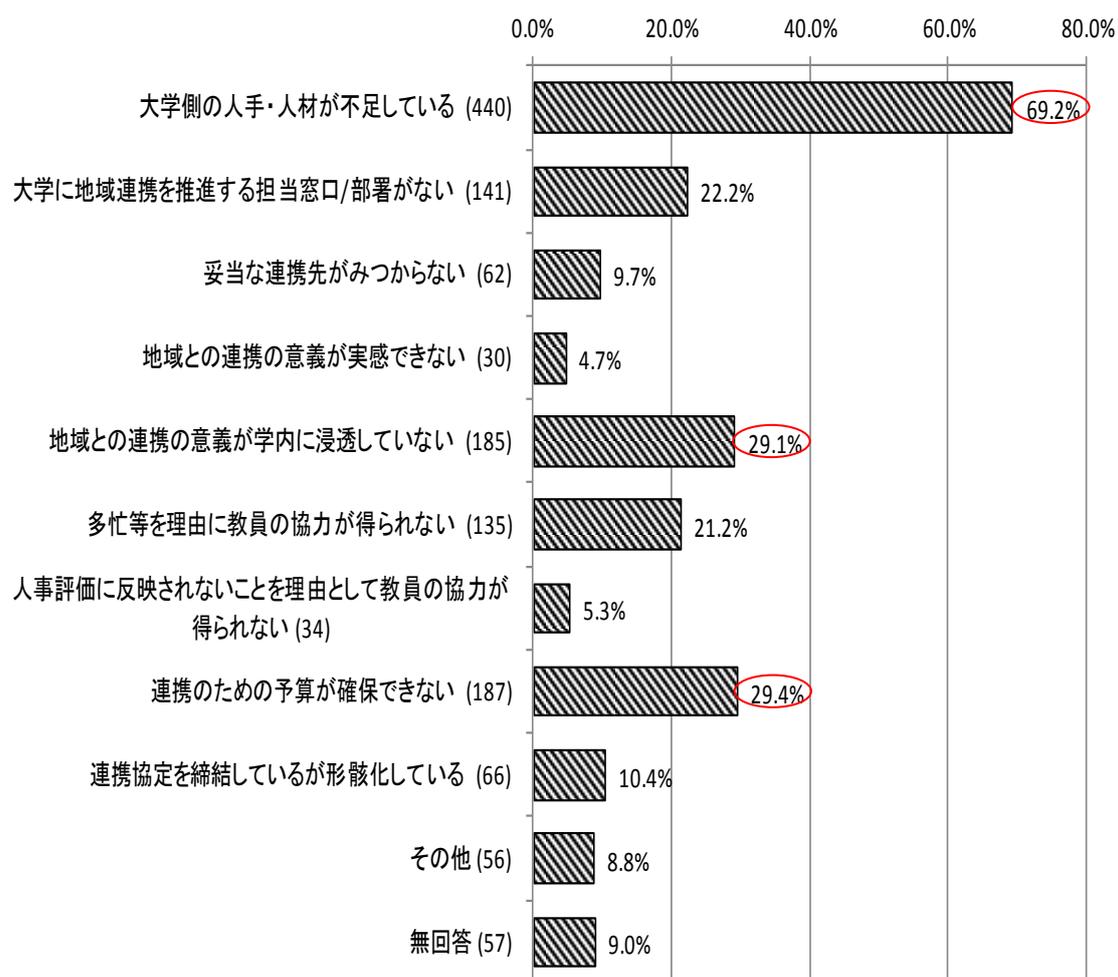
図表 165 問 20 連携先別の連携内容(地域外)



(2)連携の際の課題

地域との連携の際の課題についてきいた。「大学側の人手・人材が不足している」との割合が最も高く 69.2%であった。次いで、「連携のための予算が確保できない (29.4%)」、「地域との連携の意義が学内に浸透していない (29.1%)」の割合が高かった。

図表 166 問 22 連携の際の課題



【設置者別の回答状況】

設置者別に連携の際の課題をみた。『国立大学』については、平均値に比して「大学側の人手・人材が不足している」、「地域との連携の意義が学内に浸透していない」、「多忙等を理由に教員の協力が得られない」、「連携のための予算が確保できない」の割合が高かった。また『私立大学』については、平均値に比して「大学に地域連携を推進する担当窓口/部署がない」の割合が高かった。

図表 167 設置者別 問 22 連携の際の課題

	全体	大学側の 人手・人材が 不足している	大学に地 域連携を 推進する 担当窓口/ 部署がない	妥当な連 携先がみ つからない	地域との 連携の意 義が実感 できない	地域との 連携の意 義が学内 に浸透し ていない	多忙等を 理由に教 員の協力が 得られ ない	人事評価 に反映され ないことを 理由として 教員の協 力が得られ ない	連携のため の予算が 確保でき ない	連携協定 を締結し ているが形 骸化してい る	その他	無回答
全体	636 (2.19)	440 (69.2%)	141 (22.2%)	62 (9.7%)	30 (4.7%)	185 (29.1%)	135 (21.2%)	34 (5.3%)	187 (29.4%)	66 (10.4%)	56 (8.8%)	57 (9.0%)
国立大学	72 (2.74)	58 (80.6%)	5 (6.9%)	7 (9.7%)	3 (4.2%)	30 (41.7%)	32 (44.4%)	6 (8.3%)	36 (50.0%)	11 (15.3%)	7 (9.7%)	2 (2.8%)
公立大学	68 (1.84)	40 (58.8%)	5 (7.4%)	3 (4.4%)	3 (4.4%)	10 (14.7%)	14 (20.6%)	3 (4.4%)	22 (32.4%)	7 (10.3%)	10 (14.7%)	8 (11.8%)
私立大学	494 (2.16)	341 (69.0%)	131 (26.5%)	51 (10.3%)	24 (4.9%)	145 (29.4%)	89 (18.0%)	25 (5.1%)	129 (26.1%)	48 (9.7%)	38 (7.7%)	47 (9.5%)
その他	2 (1.50)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)

【所在地域・人口規模別の回答状況】

大学の所在地域の人口規模別に連携の際の課題をみた。特に顕著な傾向の差はみられなかったが、『50万人以上』については、平均値に比べて「大学に地域連携を推進する担当窓口/部署がない」「打倒な連携先が見つからない」の割合が高かった。

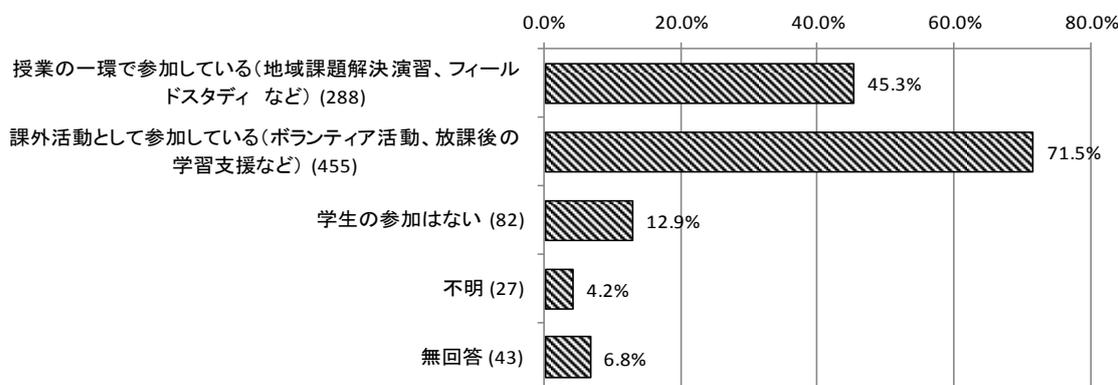
図表 168 所在地域・人口規模別 問 22 連携の際の課題

	全体	大学側の 人手・人材が 不足してい る	大学に地 域連携を 推進する 担当窓口/ 部署がない	妥当な連 携先がみ つからない	地域との 連携の意 義が実感 できない	地域との 連携の意 義が学内 に浸透し ていない	多忙等を 理由に教 員の協力が 得られ ない	人事評価 に反映され ないことを 理由として 教員の協 力が得られ ない	連携のため の予算が 確保でき ない	連携協定 を締結し ているが形 骸化してい る	その他	無回答
全体	636 (2.19)	440 (69.2%)	141 (22.2%)	62 (9.7%)	30 (4.7%)	185 (29.1%)	135 (21.2%)	34 (5.3%)	187 (29.4%)	66 (10.4%)	56 (8.8%)	57 (9.0%)
3万人未満	12 (2.25)	8 (66.7%)	3 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)	4 (33.3%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)
3~10万人未満	114 (1.93)	76 (66.7%)	25 (21.9%)	11 (9.6%)	5 (4.4%)	27 (23.7%)	15 (13.2%)	6 (5.3%)	26 (22.8%)	9 (7.9%)	10 (8.8%)	10 (8.8%)
10~50万人未満	312 (2.20)	216 (69.2%)	59 (18.9%)	25 (8.0%)	12 (3.8%)	94 (30.1%)	71 (22.8%)	18 (5.8%)	95 (30.4%)	36 (11.5%)	30 (9.6%)	30 (9.6%)
50万人以上	198 (2.32)	140 (70.7%)	54 (27.3%)	26 (13.1%)	11 (5.6%)	60 (30.3%)	47 (23.7%)	10 (5.1%)	61 (30.8%)	20 (10.1%)	15 (7.6%)	16 (8.1%)

(3) 学生の参加状況

地域連携の際の学生の参加状況についてきいた。「課外活動として参加している」の割合が高く 71.5%であった。

図表 169 問 23 学生の参加状況



【設置者別の回答状況】

設置者別に、地域連携の際の学生の参加状況をみた。「授業の一環として参加している」、「課外活動として参加している」とともに、『国立大学』の割合が高かった。

図表 170 設置者別 問 23 学生の参加状況

	全体	授業の一環で参加している(地域課題解決演習、フィールドスタディ など)	課外活動として参加している(ボランティア活動、放課後の学習支援など)	学生の参加はない	不明	無回答
全体	636 (1.41)	288 (45.3%)	455 (71.5%)	82 (12.9%)	27 (4.2%)	43 (6.8%)
国立大学	72 (1.67)	47 (65.3%)	57 (79.2%)	10 (13.9%)	4 (5.6%)	2 (2.8%)
公立大学	68 (1.28)	30 (44.1%)	38 (55.9%)	9 (13.2%)	4 (5.9%)	6 (8.8%)
私立大学	494 (1.39)	209 (42.3%)	359 (72.7%)	63 (12.8%)	19 (3.8%)	35 (7.1%)
その他	2 (1.50)	2 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

【所在地域・人口規模別の回答状況】

所在地域の人口規模別に、地域連携の際の学生の参加状況をみた。特に「課外活動として参加している」は、『50万人以上』の割合が高かった。

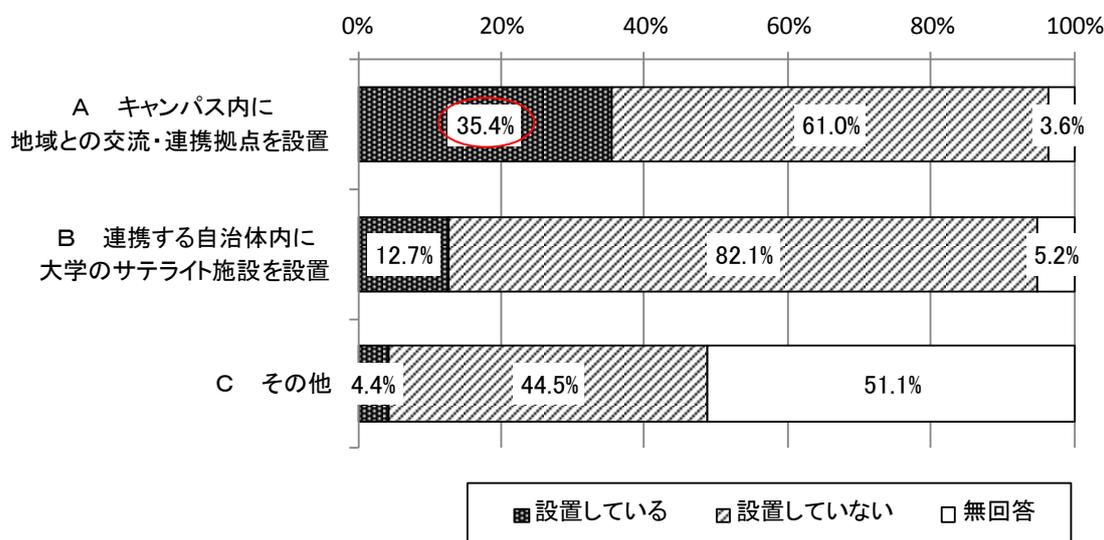
図表 171 所在地域・人口規模別 問 23 学生の参加状況

	全体	授業の一環で参加している(地域課題解決演習、フィールドスタディ など)	課外活動として参加している(ボランティア活動、放課後の学習支援など)	学生の参加はない	不明	無回答
全体	636 (1.41)	288 (45.3%)	455 (71.5%)	82 (12.9%)	27 (4.2%)	43 (6.8%)
3万人未満	12 (1.58)	6 (50.0%)	8 (66.7%)	3 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)
3~10万人未満	114 (1.36)	49 (43.0%)	77 (67.5%)	15 (13.2%)	3 (2.6%)	11 (9.6%)
10~50万人未満	312 (1.38)	136 (43.6%)	221 (70.8%)	35 (11.2%)	18 (5.8%)	22 (7.1%)
50万人以上	198 (1.46)	97 (49.0%)	149 (75.3%)	29 (14.6%)	6 (3.0%)	8 (4.0%)

(4) 地域連携に資する施設の設置状況

地域連携に資する施設の設置状況についてきた。『Aキャンパス内に地域との交流・連携拠点を設置』については「設置している」との回答割合は35.4%であった。

図表 172 問 24 地域連携に資する施設の設置状況(N=636)



【設置者別の回答状況】

設置者別に、地域連携に資する施設の設置状況を見た。『A キャンパス内に地域との交流・連携拠点を設置』については、「国立大学」及び「公立大学」の設置している割合が高かった。また、『B 連携する自治体内に大学のサテライト施設を設置』については、特に「国立大学」の設置している割合が高かった。

図表 173 設置者別 問 24 地域連携に資する施設の設置状況【A キャンパス内に地域との交流・連携拠点を設置】

	全体	設置している	設置していない	無回答
全体	636 (100.0%)	225 (35.4%)	388 (61.0%)	23 (3.6%)
国立大学	72 (100.0%)	39 (54.2%)	33 (45.8%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	38 (55.9%)	28 (41.2%)	2 (2.9%)
私立大学	494 (100.0%)	147 (29.8%)	326 (66.0%)	21 (4.3%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)

図表 174 設置者別 問 24 地域連携に資する施設の設置状況【B 連携する自治体内に大学のサテライト施設を設置】

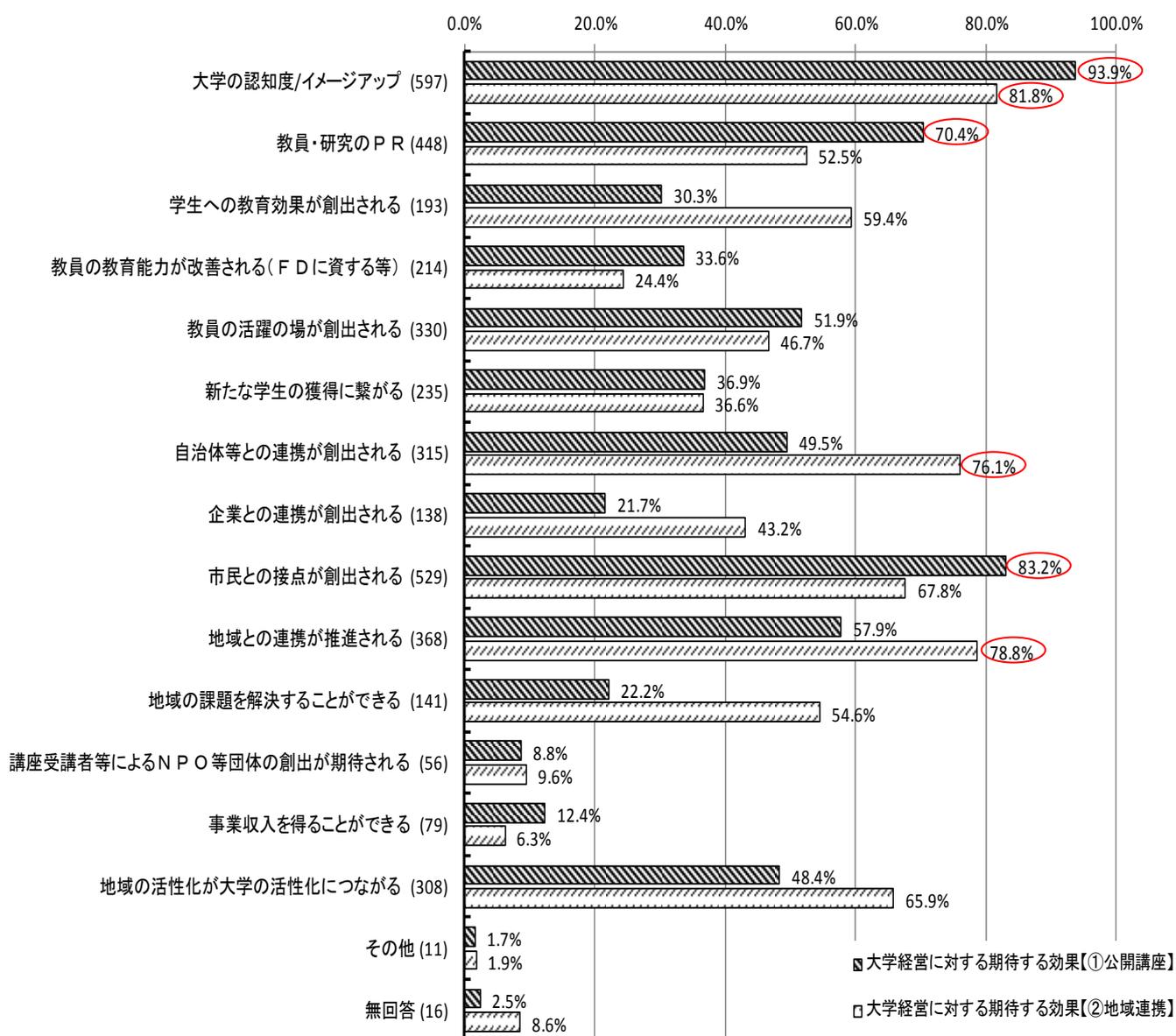
	全体	設置している	設置していない	無回答
全体	636 (100.0%)	81 (12.7%)	522 (82.1%)	33 (5.2%)
国立大学	72 (100.0%)	27 (37.5%)	44 (61.1%)	1 (1.4%)
公立大学	68 (100.0%)	8 (11.8%)	57 (83.8%)	3 (4.4%)
私立大学	494 (100.0%)	46 (9.3%)	419 (84.8%)	29 (5.9%)
その他	2 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)

10 開かれた大学づくりに期待する効果・今後の方針

(1) 大学経営に期待する効果

大学経営に期待する効果について、【①公開講座】及び【②地域連携】に期待する効果をきいた。【①公開講座】に期待する効果としては、「大学の認知度/イメージアップ (93.9%)」、「市民との接点が創出される (83.2%)」、「自治体との接点が創出される (76.1%)」の割合が高かった。【②地域連携】に期待する効果としては、「地域との連携が推進される (78.8%)」、「大学の認知度/イメージアップ (81.8%)」、「自治体等との連携が創出される (76.1%)」の割合が高かった。

図表 175 問 25 公開講座及び地域連携の大学経営に期待する効果(複数回答)



【設置者別の回答状況】

設置者別に大学経営に期待する効果をみた。公開講座に期待する効果は、全体で回答割合の高かった3項目についてみると、「大学の認知度/イメージアップ」については、『国立大学』、『公立大学』、『私立大学』の別の大きな傾向の差はなかった。「教員・研究のPR」については、『国立大学』及び『公立大学』の回答割合が高かった。「市民との接点が創出される」についても『国立大学』及び『公立大学』の回答割合が高かった。

地域連携に期待する効果は、全体で回答割合の高かった「大学の認知度/イメージアップ」、「自治体等との連携が創出される」、「地域との連携が推進される」とともに、『国立大学』の回答割合が高かった。

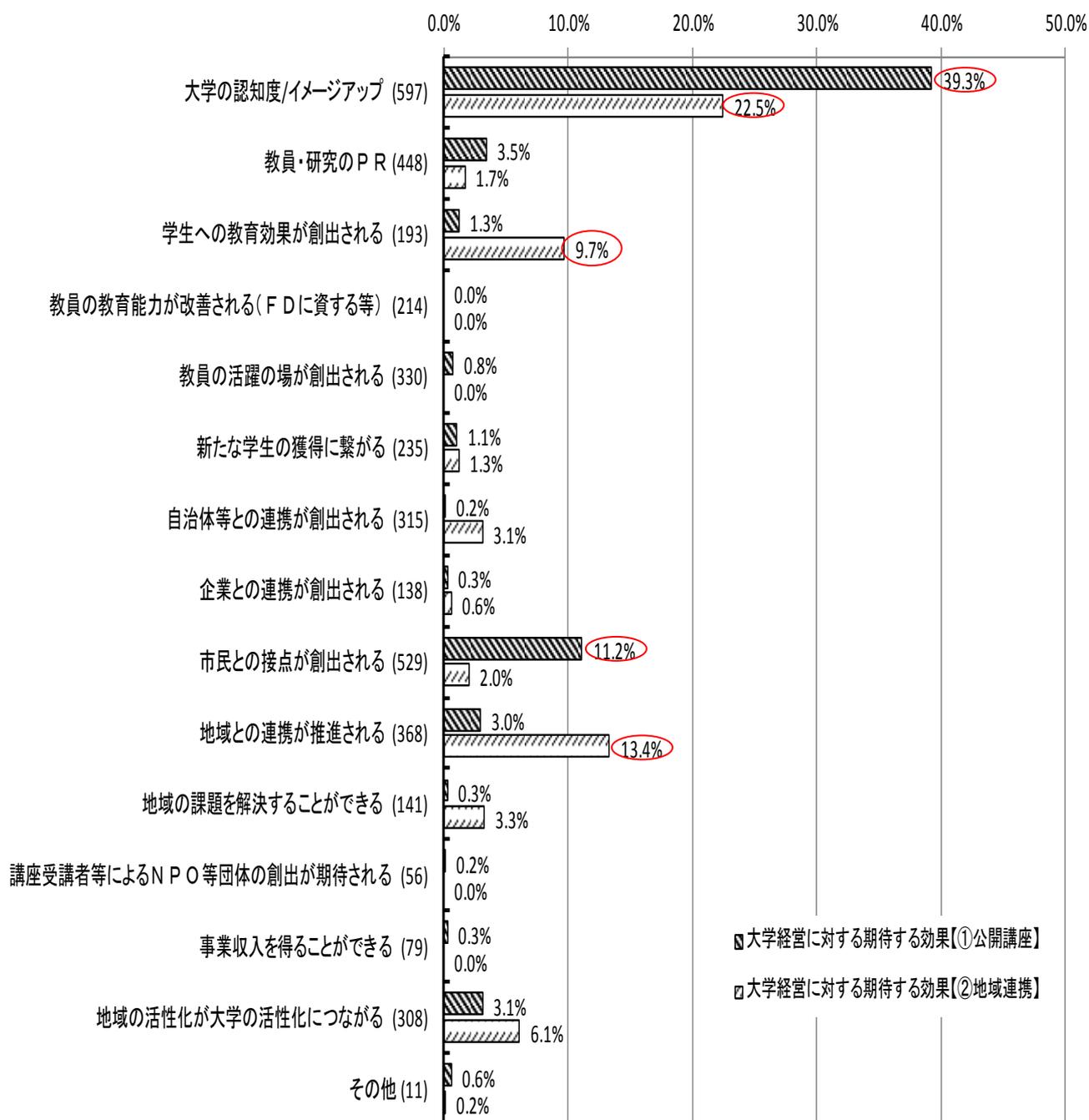
図表 176 設置者別 問 25 大学経営に期待する効果【公開講座】(複数回答)

	全体	大学の認知度/ イメージアップ	教員・研究のPR	学生への教育効果 が創出される	教員の教育能力が改善される (FDIに資する等)	教員の活躍の場 が創出される	新たな学生の獲得に 繋がる	自治体等との連携が 創出される		
全体	636 (6.25)	597 (93.9%)	448 (70.4%)	193 (30.3%)	214 (33.6%)	330 (51.9%)	235 (36.9%)	315 (49.5%)		
国立大学	72 (7.08)	67 (93.1%)	59 (81.9%)	24 (33.3%)	29 (40.3%)	41 (56.9%)	32 (44.4%)	33 (45.8%)		
公立大学	68 (6.41)	63 (92.6%)	57 (83.8%)	18 (26.5%)	20 (29.4%)	39 (57.4%)	30 (44.1%)	30 (44.1%)		
私立大学	494 (6.11)	465 (94.1%)	331 (67.0%)	149 (30.2%)	164 (33.2%)	249 (50.4%)	171 (34.6%)	252 (51.0%)		
その他	2 (7.00)	2 (100.0%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)		
	企業との連携が 創出される	市民との接点が 創出される	地域との連携が 推進される	地域の課題を解 決することができる	講座受講者等 によるNPO等団 体の創出が期待 される	事業収入を得る ことができる	地域の活性化が 大学の活性化に つながる	その他		無回答
全体	138 (21.7%)	529 (83.2%)	368 (57.9%)	141 (22.2%)	56 (8.8%)	79 (12.4%)	308 (48.4%)	11 (1.7%)	16 (2.5%)	
国立大学	21 (29.2%)	66 (91.7%)	48 (66.7%)	24 (33.3%)	11 (15.3%)	13 (18.1%)	37 (51.4%)	4 (5.6%)	1 (1.4%)	
公立大学	14 (20.6%)	63 (92.6%)	38 (55.9%)	22 (32.4%)	5 (7.4%)	10 (14.7%)	23 (33.8%)	2 (2.9%)	2 (2.9%)	
私立大学	103 (20.9%)	399 (80.8%)	281 (56.9%)	94 (19.0%)	40 (8.1%)	55 (11.1%)	247 (50.0%)	5 (1.0%)	13 (2.6%)	
その他	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

図表 177 設置者別 問 25 大学経営に期待する効果【地域連携】(複数回答)

	全体	大学の認知度/ イメージアップ	教員・研究のPR	学生への教育効果 が創出される	教員の教育能力が改善される (FDIに資する等)	教員の活躍の場 が創出される	新たな学生の獲得に 繋がる	自治体等との連携が 創出される		
全体	636 (7.14)	520 (81.8%)	334 (52.5%)	378 (59.4%)	155 (24.4%)	297 (46.7%)	233 (36.6%)	484 (76.1%)		
国立大学	72 (9.15)	66 (91.7%)	56 (77.8%)	52 (72.2%)	27 (37.5%)	48 (66.7%)	36 (50.0%)	67 (93.1%)		
公立大学	68 (7.68)	59 (86.8%)	44 (64.7%)	43 (63.2%)	16 (23.5%)	38 (55.9%)	21 (30.9%)	49 (72.1%)		
私立大学	494 (6.77)	393 (79.6%)	233 (47.2%)	281 (56.9%)	111 (22.5%)	210 (42.5%)	174 (35.2%)	366 (74.1%)		
その他	2 (9.50)	2 (100.0%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)		
	企業との連携が 創出される	市民との接点が 創出される	地域との連携が 推進される	地域の課題を解 決することができる	講座受講者等 によるNPO等団 体の創出が期待 される	事業収入を得る ことができる	地域の活性化が 大学の活性化に つながる	その他		無回答
全体	275 (43.2%)	431 (67.8%)	501 (78.8%)	347 (54.6%)	61 (9.6%)	40 (6.3%)	419 (65.9%)	12 (1.9%)	55 (8.6%)	
国立大学	45 (62.5%)	58 (80.6%)	67 (93.1%)	57 (79.2%)	10 (13.9%)	6 (8.3%)	58 (80.6%)	5 (6.9%)	1 (1.4%)	
公立大学	37 (54.4%)	49 (72.1%)	56 (82.4%)	47 (69.1%)	6 (8.8%)	8 (11.8%)	43 (63.2%)	2 (2.9%)	4 (5.9%)	
私立大学	192 (38.9%)	322 (65.2%)	376 (76.1%)	241 (48.8%)	45 (9.1%)	26 (5.3%)	317 (64.2%)	5 (1.0%)	50 (10.1%)	
その他	1 (50.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

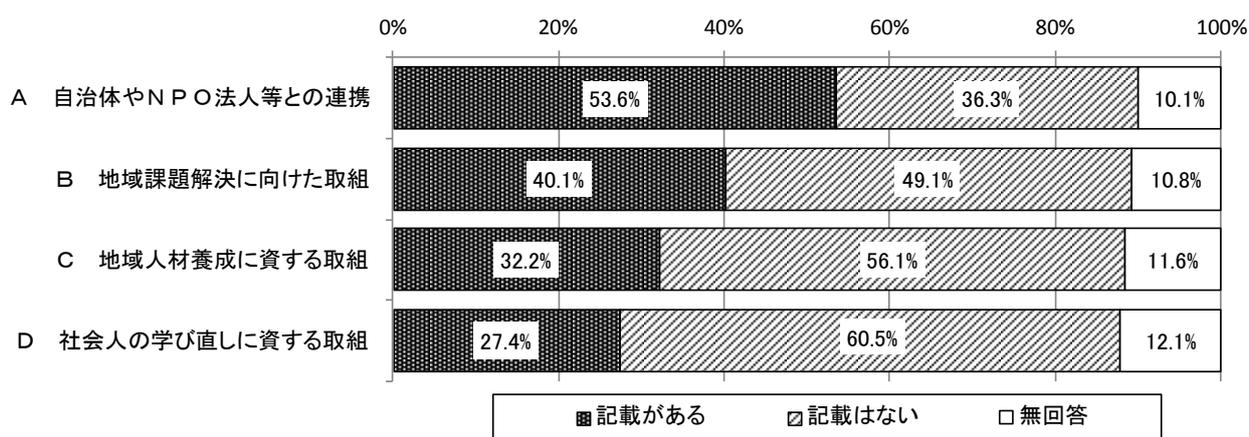
図表 178 問 25 公開講座及び地域連携の大学経営に特に期待する効果



(2) 開かれた大学づくりの今後の方針

開かれた大学づくりの今後の方針についてきいた。平成 25 年度の事業計画への記載の有無をみると、「記載がある」との回答割合は、『A 自治体や NPO 法人等との連携 (53.6%)』、『B 地域課題解決にむけた取組 (40.1%)』、『C 地域人材養成に資する取組 (32.2%)』、『D 社会人の学び直しに資する取組 (27.4%)』の順で高かった。

図表 179 問 26 開かれた大学づくりの今後の方針(N=636)



【設置者別の回答状況】

設置者別に、平成 25 年度の事業計画への記載の有無をみた。『A自治体やNPO法人等との連携』、『B地域課題解決にむけた取組』、『C地域人材養成に資する取組』、『D社会人の学び直しに資する取組』ともに、『国立大学』及び『公立大学』が記載している割合が高かった。

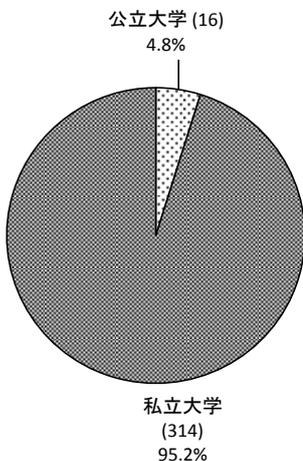
図表 180 設置者別 問 26 開かれた大学づくりの今後の方針

A自治体やNPO法人等との連携	全体	記載がある	記載はない	無回答
全体	636 (100.0%)	341 (53.6%)	231 (36.3%)	64 (10.1%)
国立大学	72 (100.0%)	59 (81.9%)	6 (8.3%)	7 (9.7%)
公立大学	68 (100.0%)	50 (73.5%)	14 (20.6%)	4 (5.9%)
私立大学	494 (100.0%)	230 (46.6%)	211 (42.7%)	53 (10.7%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
B地域課題解決に向けた取組	全体	記載がある	記載はない	無回答
全体	636 (100.0%)	255 (40.1%)	312 (49.1%)	69 (10.8%)
国立大学	72 (100.0%)	53 (73.6%)	13 (18.1%)	6 (8.3%)
公立大学	68 (100.0%)	48 (70.6%)	16 (23.5%)	4 (5.9%)
私立大学	494 (100.0%)	152 (30.8%)	283 (57.3%)	59 (11.9%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
C地域人材養成に資する取組	全体	記載がある	記載はない	無回答
全体	636 (100.0%)	205 (32.2%)	357 (56.1%)	74 (11.6%)
国立大学	72 (100.0%)	47 (65.3%)	17 (23.6%)	8 (11.1%)
公立大学	68 (100.0%)	34 (50.0%)	29 (42.6%)	5 (7.4%)
私立大学	494 (100.0%)	122 (24.7%)	311 (63.0%)	61 (12.3%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
D社会人の学び直しに資する取組	全体	記載がある	記載はない	無回答
全体	636 (100.0%)	174 (27.4%)	385 (60.5%)	77 (12.1%)
国立大学	72 (100.0%)	34 (47.2%)	29 (40.3%)	9 (12.5%)
公立大学	68 (100.0%)	29 (42.6%)	33 (48.5%)	6 (8.8%)
私立大学	494 (100.0%)	109 (22.1%)	323 (65.4%)	62 (12.6%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

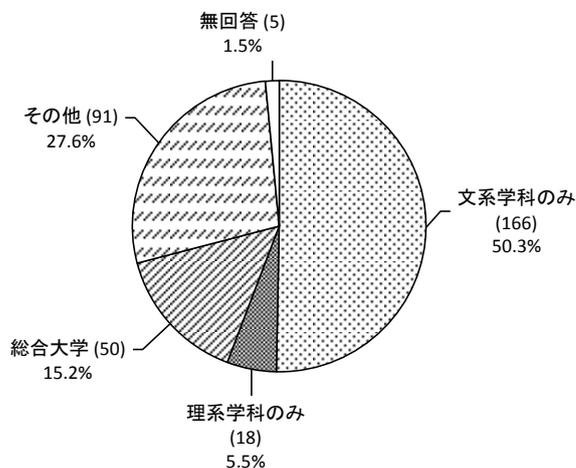
B アンケート調査結果 - 短大編

【回答者 プロフィール】

図表 181 設置者の別



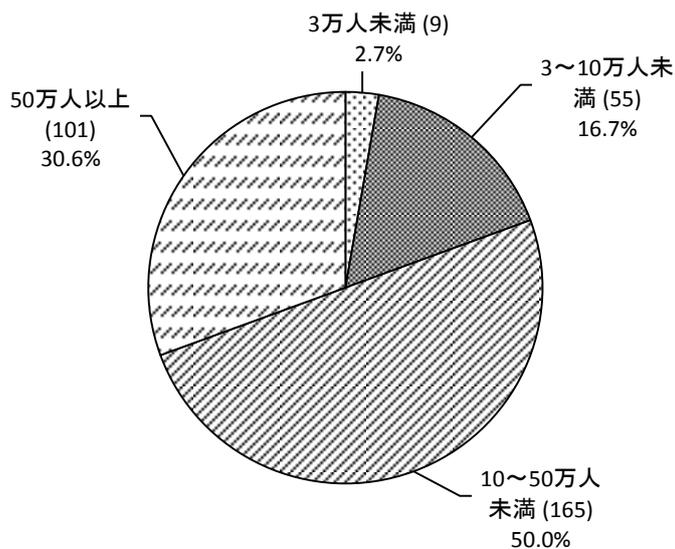
図表 182 学部構成



図表 183 設置者別 学部構成

	全体	文系学部のみ	理系学部のみ	総合大学	その他	無回答
全体	330	166	18	50	91	5
	(100.0%)	(50.3%)	(5.5%)	(15.2%)	(27.6%)	(1.5%)
公立大学	16	6	0	4	6	0
	(100.0%)	(37.5%)	(0.0%)	(25.0%)	(37.5%)	(0.0%)
私立大学	314	160	18	46	85	5
	(100.0%)	(51.0%)	(5.7%)	(14.6%)	(27.1%)	(1.6%)

図表 184 立地地域(市区町村)の人口規模

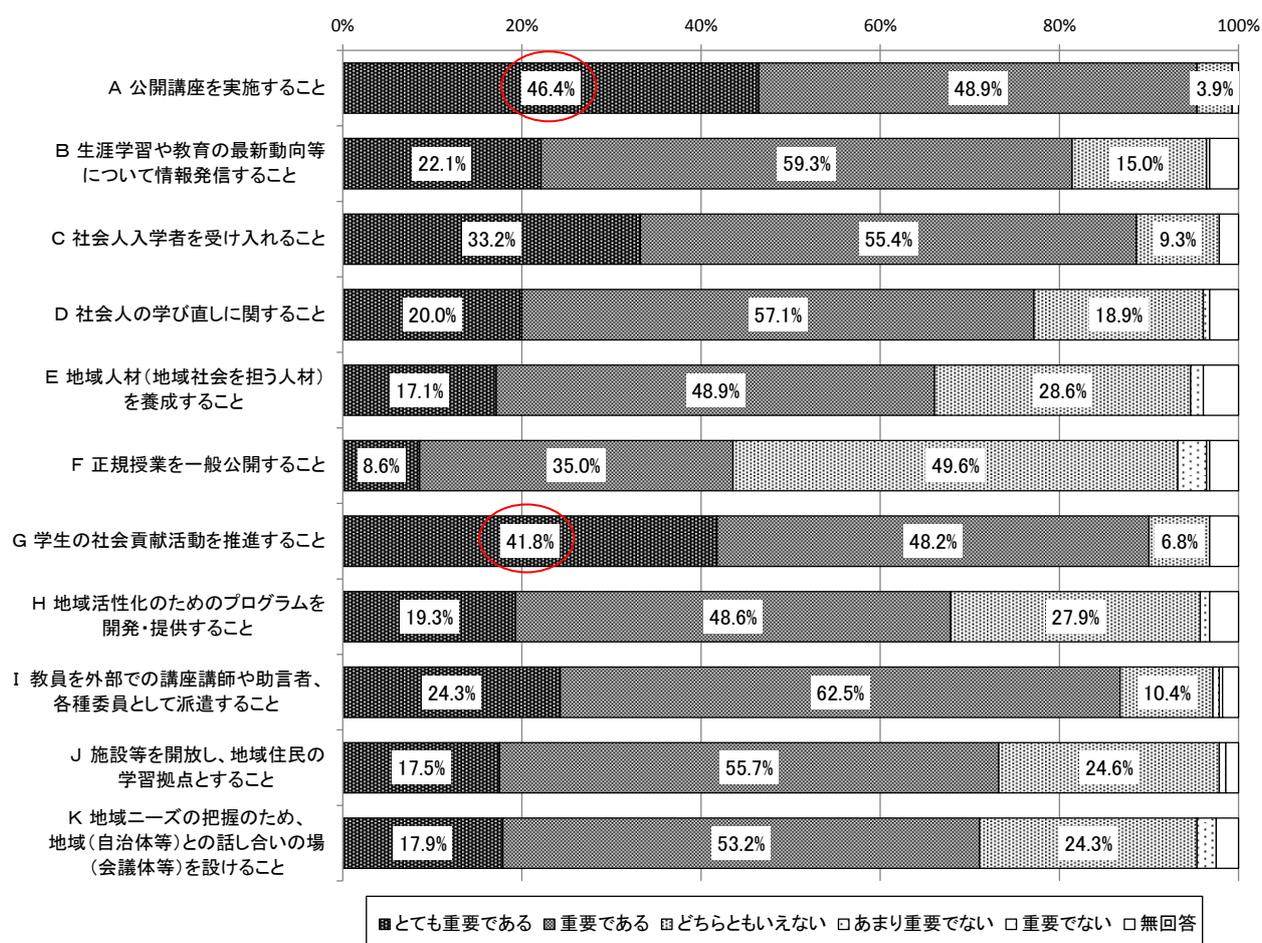


1 開かれた大学づくりに関する実施方針

(1) 地域社会に対する大学の貢献の在り方として重視する事柄

地域社会に対する大学の貢献の在り方として重視する項目をきいた。「とても重要である」については、特に「A公開講座を実施すること（46.4%）」、「G学生の社会貢献活動を推進すること（41.8%）」の回答割合が高かった。

図表 185 問 1 地域社会に対する大学の貢献の在り方として重視する事柄 (N=280)



【所在地域・人口規模別の回答状況】

所在地域の人口規模別に地域社会に対する大学の貢献の在り方として重視する項目をみた。【公開講座を実施すること】、【地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること】、【施設等を開放し、地域住民の学習拠点とすること】について、「重要である」との回答割合は『10万人未満』が高かった。

図表 186 所在地域・人口規模別 問1 重視する事柄【公開講座を実施すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	280 (100.0%)	130 (46.4%)	137 (48.9%)	11 (3.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)
10万人未満	53 (100.0%)	23 (43.4%)	29 (54.7%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
10～50万人未満	136 (100.0%)	65 (47.8%)	66 (48.5%)	3 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.5%)
50万人以上	91 (100.0%)	42 (46.2%)	42 (46.2%)	7 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 187 所在地域・人口規模別 問1 重視する事柄【地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	280 (100.0%)	54 (19.3%)	136 (48.6%)	78 (27.9%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	9 (3.2%)
10万人未満	53 (100.0%)	8 (15.1%)	31 (58.5%)	12 (22.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.8%)
10～50万人未満	136 (100.0%)	27 (19.9%)	63 (46.3%)	43 (31.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.2%)
50万人以上	91 (100.0%)	19 (20.9%)	42 (46.2%)	23 (25.3%)	3 (3.3%)	0 (0.0%)	4 (4.4%)

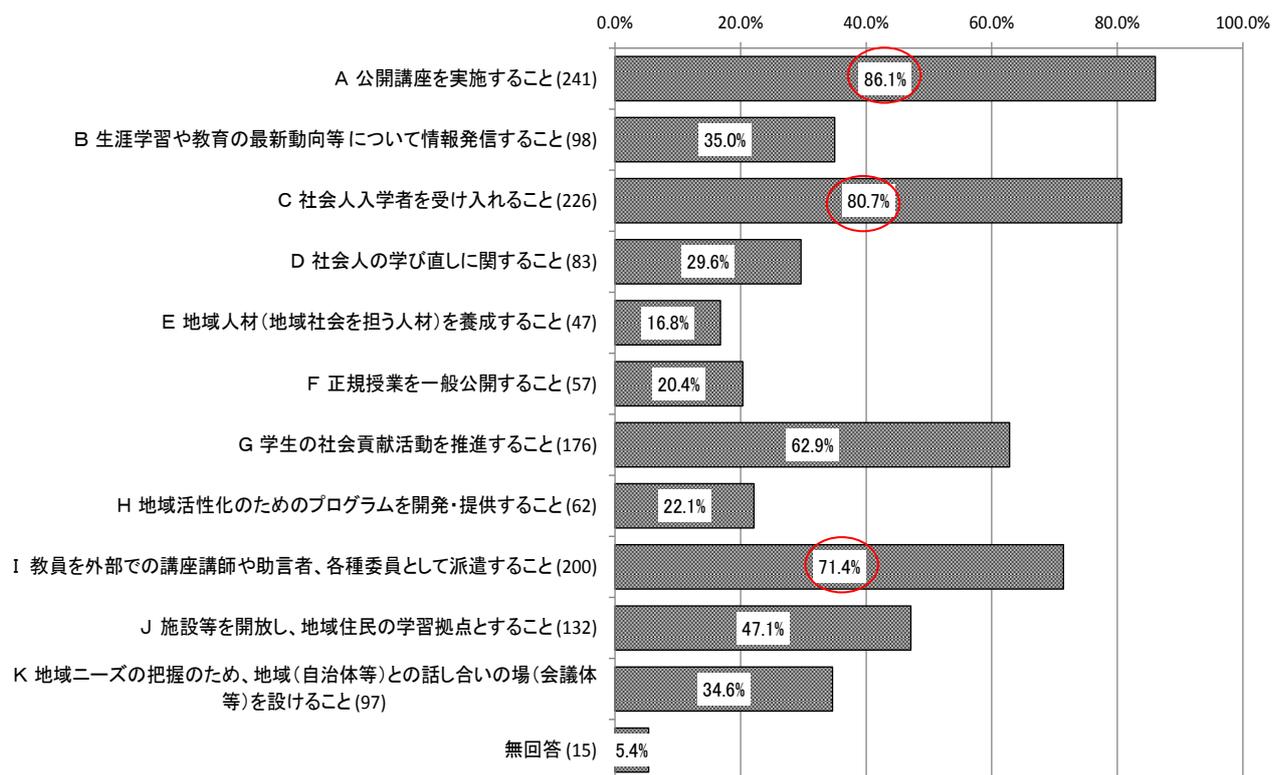
図表 188 所在地域・人口規模別 問1 重視する事柄【施設等を開放し、地域住民の学習拠点とすること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	280 (100.0%)	49 (17.5%)	156 (55.7%)	69 (24.6%)	2 (0.7%)	0 (0.0%)	4 (1.4%)
10万人未満	53 (100.0%)	9 (17.0%)	35 (66.0%)	9 (17.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
10～50万人未満	136 (100.0%)	26 (19.1%)	66 (48.5%)	40 (29.4%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	3 (2.2%)
50万人以上	91 (100.0%)	14 (15.4%)	55 (60.4%)	20 (22.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)

(2) 実際に取り組んでいる事柄

地域社会に対する大学の貢献として重視する項目のうち、実際に取り組んでいる事柄をきいた。『公開講座を実施すること（86.1%）』、『社会人入学者を受け入れること（80.7%）』、『教員を外部での講師派遣や助言者、各種委員として派遣すること（71.4%）』の回答割合が高かった。

図表 189 問1 実際に取り組んでいる事柄 (N=280 複数回答)



【所在地域・人口規模別の回答状況】

所在地域の人口規模別に実際に取り組んでいる事柄をみた。『10万人未満』において「公開講座を実施すること」、「教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること」、「施設等を開放し、地域住民の学習拠点とすること」、「地域ニーズの把握のため、地域との話し合いの場を設けること」の回答割合が高かった。『10～50万人未満』については、「社会人の学び直しに関すること」の回答割合が高かった。『50万人以上』については、「地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること」の回答割合が高かった。

図表 190 所在地域・人口規模別 問1 実際に取り組んでいる事柄

	全体	A 公開講座を実施すること	B 生涯学習や教育の最新動向等について情報発信すること	C 社会人入学者を受け入れること	D 社会人の学び直しに関すること	E 地域人材(地域社会を担う人材)を養成すること	F 正規授業を一般公開すること	G 学生の社会貢献活動を推進すること	H 地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること	I 教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること	J 施設等を開放し、地域住民の学習拠点とすること	K 地域ニーズの把握のため、地域(自治体等)との話し合いの場(会議体等)を設けること	無回答
全体	280 (5.12)	241 (86.1%)	98 (35.0%)	226 (80.7%)	83 (29.6%)	47 (16.8%)	57 (20.4%)	176 (62.9%)	62 (22.1%)	200 (71.4%)	132 (47.1%)	97 (34.6%)	15 (5.4%)
10万人未満	53 (5.42)	48 (90.6%)	20 (37.7%)	43 (81.1%)	12 (22.6%)	9 (17.0%)	8 (15.1%)	33 (62.3%)	8 (15.1%)	45 (84.9%)	33 (62.3%)	26 (49.1%)	2 (3.8%)
10～50万人未満	136 (5.20)	119 (87.5%)	45 (33.1%)	111 (81.6%)	47 (34.6%)	25 (18.4%)	29 (21.3%)	94 (69.1%)	30 (22.1%)	96 (70.6%)	62 (45.6%)	41 (30.1%)	8 (5.9%)
50万人以上	91 (4.84)	74 (81.3%)	33 (36.3%)	72 (79.1%)	24 (26.4%)	13 (14.3%)	20 (22.0%)	49 (53.8%)	24 (26.4%)	59 (64.8%)	37 (40.7%)	30 (33.0%)	5 (5.5%)

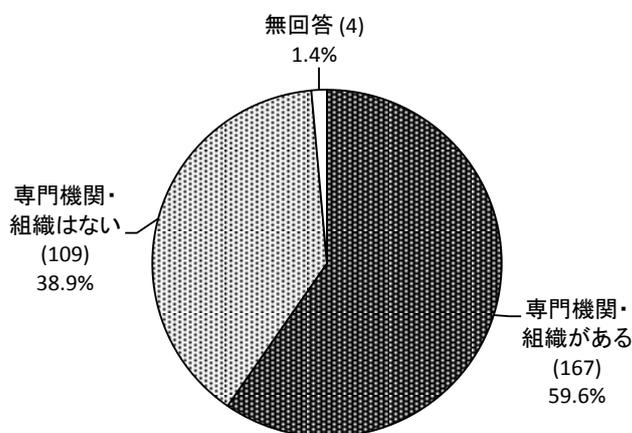
(3)開かれた大学づくりに関する専門機関・組織の設置状況

①公開講座に関する専門機関・組織

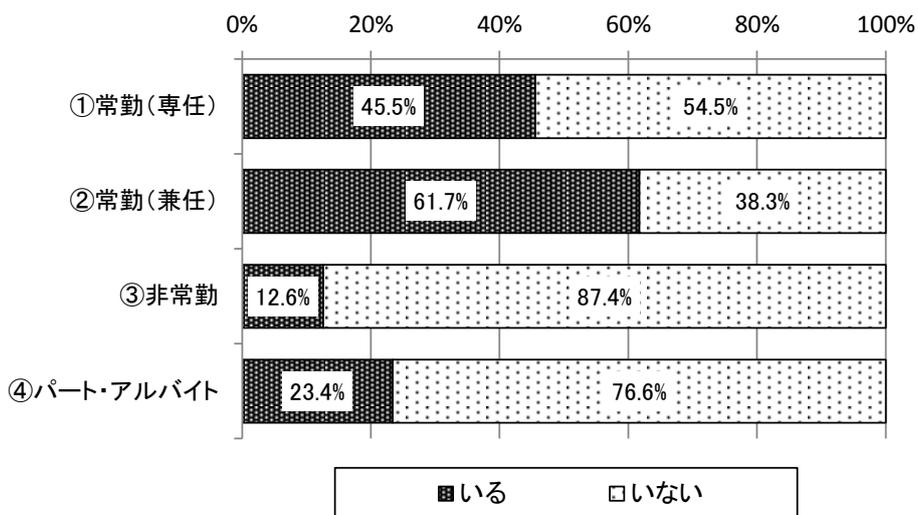
公開講座に関する専門機関・組織の設置状況についてきいた。「専門機関・組織がある」との回答割合は59.6%であった。

また、公開講座の専門機関・組織の事務職員の有無をみると、「①常勤（専任）」がいる割合は45.5%、「②常勤（兼任）」がいる割合は61.7%であった。なお、1大学あたりの各事務職員の平均人数をみると、「①常勤（専任）」が1.3人（昨年度：1.5人）、「②常勤（兼任）」が1.6人（昨年度：1.4人）となっている。

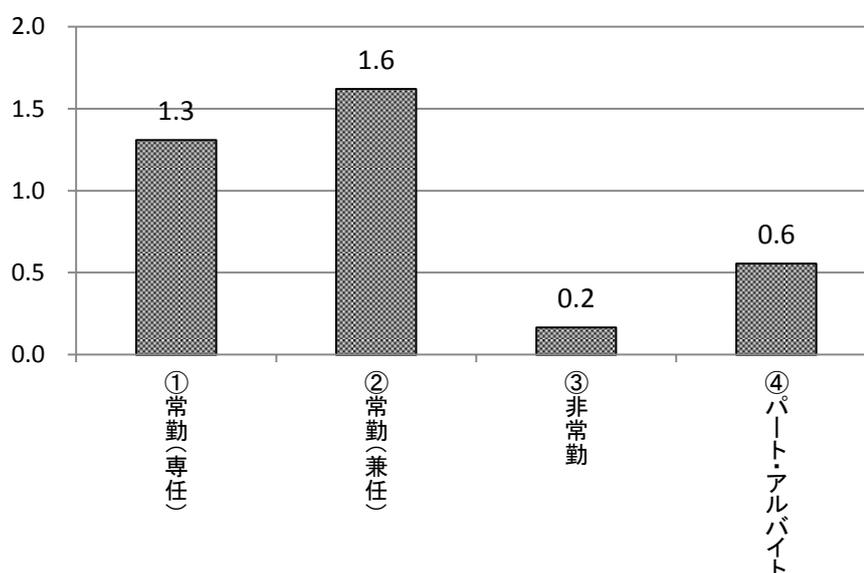
図表 191 問3 専門機関・組織(公開講座)の設置有無



図表 192 問3 専門機関・組織(公開講座)の事務職員種別毎の有無(N=167)



図表 193 問3 専門機関・組織(公開講座)の事務職員種別毎の平均人数(N=167)



【所在地域・人口規模別の回答状況】

所在地域の人口規模別に事務職員の平均人数をみた。「①常勤(専任)」は、『10～50万人未満』の平均人数が最も多く1.5人であった。「②常勤(兼任)」についても、『10～50万人』の平均人数が最も多く1.8人であった。

図表 194所在地域・人口規模別 問3 専門機関・組織(公開講座)の事務職員種別毎の平均人数

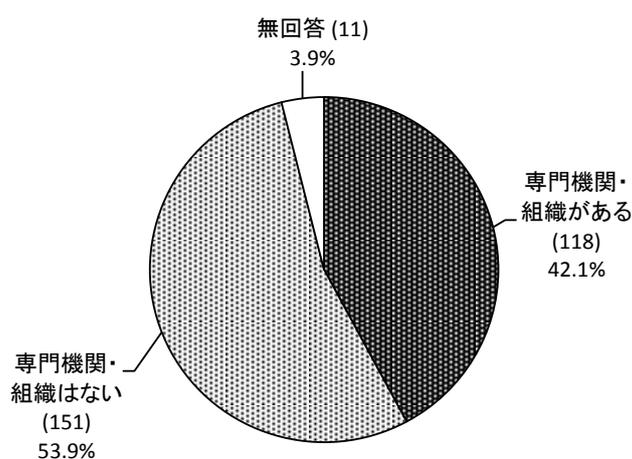
①常勤(専任)	回答件数	平均	②常勤(兼任)	回答件数	平均
全体	167	1.3	全体	167	1.6
10万人未満	28	0.8	10万人未満	28	1.4
10～50万人未満	84	1.5	10～50万人未満	84	1.8
50万人以上	55	1.3	50万人以上	55	1.5

③非常勤	回答件数	平均	④パート・アルバイト	回答件数	平均
全体	167	0.2	全体	167	0.6
10万人未満	28	0.1	10万人未満	28	0.6
10～50万人未満	84	0.1	10～50万人未満	84	0.5
50万人以上	55	0.2	50万人以上	55	0.7

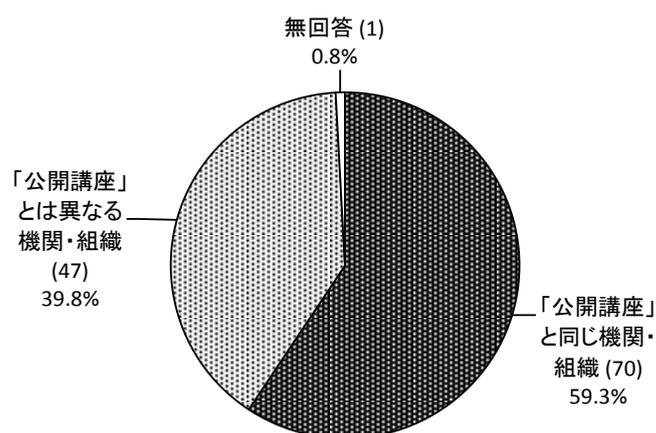
②地域連携に関する専門機関・組織

地域連携に関する専門機関・組織の設置状況をきいた。「専門機関・組織がある」との回答割合は 42.1%であった。また、上述の公開講座に関する専門機関・組織と同様の機関・組織であるかきいたところ、「公開講座」と同じ機関・組織」との回答割合は 59.3%、「公開講座」とは異なる機関・組織」との回答割合は 39.8%であった。

図表 195 問 3 専門機関・組織(地域連携)の設置有無



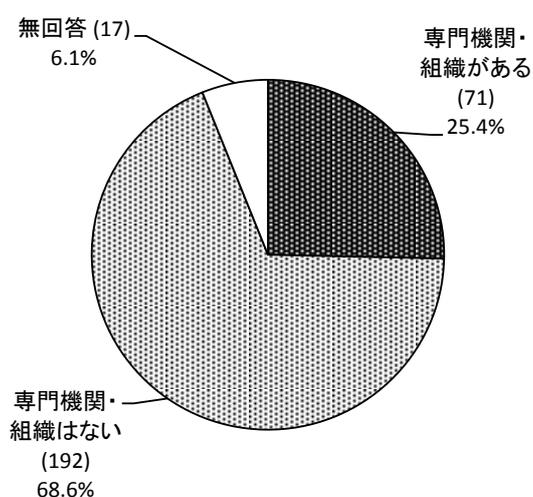
図表 196 問 3 専門機関・組織(地域連携)の設置状況



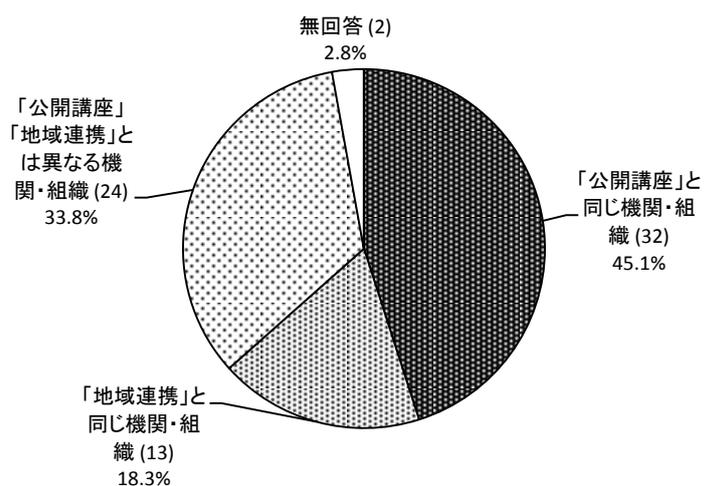
③産学連携に関する専門機関・組織

産学連携に関する専門機関・組織の設置状況をきいた。「専門機関・組織がある」との回答割合は 25.4%であった。また、上述の公開講座・地域連携に関する専門機関・組織と同様の機関・組織であるかきいたところ、「公開講座」と同じ機関・組織」との回答割合は 45.1%、「地域連携」と同じ機関・組織」との回答割合は 18.3%、「公開講座」「地域連携」とは異なる機関・組織」との回答割合は 33.8%であった。

図表 197 問 3 専門機関・組織(産学連携)の設置有無

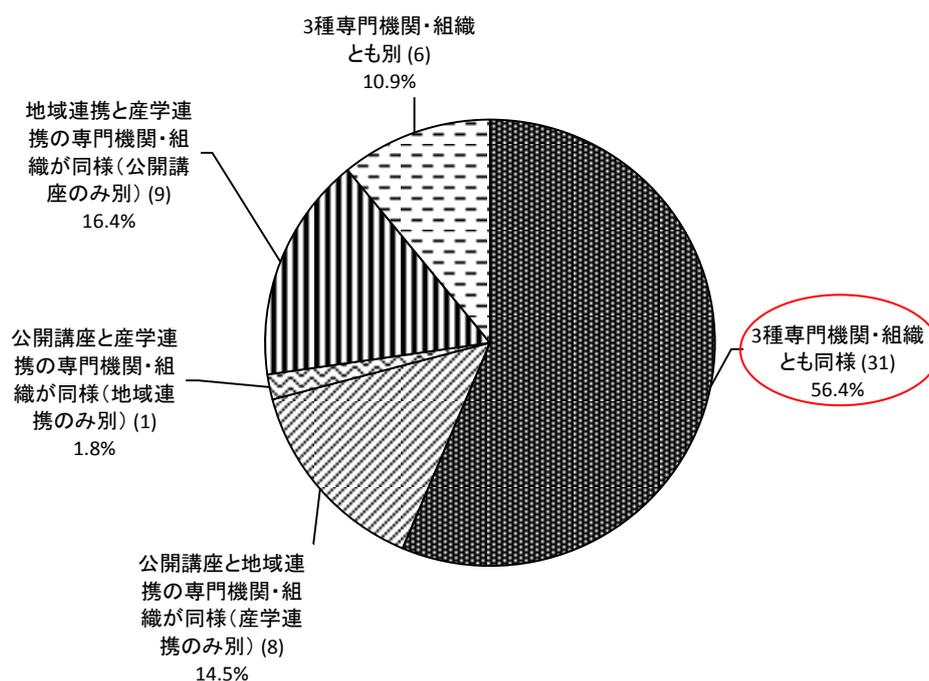


図表 198 問 3 専門機関・組織(産学連携)の設置状況



上記の「公開講座」「地域連携」「産学連携」それぞれの機関・組織の設置状況を踏まえると、最も多いケースとして「3種専門機関・組織との同様（56.4%）」が挙げられる。また、次に多いケースとして「地域連携と産学連携の専門機関・組織が同様（16.4%）」が挙げられる。最も少ないケースは「公開講座と産学連携の専門機関・組織が同様（1.8%）」であった。

図表 199 問3 各専門機関・組織の有無状況



【所在地域・人口規模別の回答状況】

上記の各専門機関・組織の有無状況を所在地域の人口規模別にみた。「3種専門機関・組織とも同様」については、特に『10～50万人未満』の割合が高かった（75.8%）。

図表 200 所在地域・人口規模別 問3 各専門機関・組織の有無状況

	全体	3種専門機関・ 組織とも同様	公開講座と地 域連携の専門 機関・組織が同 様(産学連携の み別)	公開講座と産 学連携の専門 機関・組織が同 様(地域連携の み別)	地域連携と産 学連携の専門 機関・組織が同 様(公開講座の み別)	3種専門機関・ 組織とも別
全体	55 (100.0%)	31 (56.4%)	8 (14.5%)	1 (1.8%)	9 (16.4%)	6 (10.9%)
10万人未満	7 (100.0%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)
10～50万人未満	33 (100.0%)	25 (75.8%)	2 (6.1%)	1 (3.0%)	4 (12.1%)	1 (3.0%)
50万人以上	15 (100.0%)	4 (26.7%)	3 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (20.0%)	5 (33.3%)